

奥三河 明神山西面 ユヤノ沢

2013年6月16日(日) 晴れ時々曇り

L川村、小池M、磯部S、ヤマメ、大竹、松野、池田T(記)

沢登りの本格シーズンを前に、足慣らしのために浜松から近いユヤノ沢に出かけた。
水量はほどほど。途中、お助けロープを出す場面はあったが特に困難な箇所は無かった。

鳳来湖の奥の砥沢沿いの林道に入っていく。栃ノ木沢に向かう分岐を過ぎると未舗装路になるが普通車でも問題ない。
分岐を過ぎてから1kmあたりに橋がある。その手前に車が2~3台止められるスペースがある。
沢支度中にヤマビルを発見！ 奥三河にもヒルがいるなんて・・・
その場では被害は無かったが、その後もヒルには度々出会うことになる。

気を取り直して出発。橋を渡るとすぐにゲート(鎖)がある。そこから300mほど歩くと橋があり、そこを降りてユヤノ沢に入るのだが すぐに堰堤があるので、その脇を越えてから入渓する。

(日本登山体系ではユヤノ沢川支流と表記されている)



橋の上から見たユヤノ沢出合



最初の小滝

入渓して10分ほどで最初の小滝。傾斜はキツくないが手がかりが少ない。無理せずに右岸を巻いた。
その後は岩を乗り越えが中心で順調に進む。



トイ状の小滝

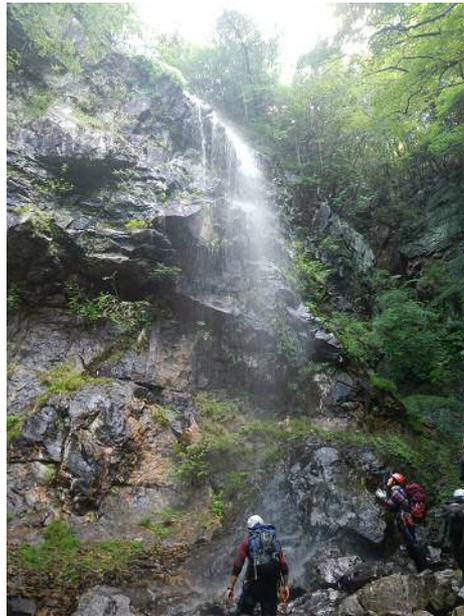


数十mに渡るナメ

途中、小さな釜を持つ小滝があり、泳いで取り付こうか迷っていたら、磯部が勢い良くダイブを敢行。
それを見て大竹、川村、池田も泳いで釜を渡る。正直、水は冷たい。残りのメンバーは釜の脇をトラバースして通過。



小滝を登る磯部



40mの大滝

やがて40mの大滝が現れる。垂直どころかハングしているので直登は到底ムリ。すぐ右にレンゼがあったがドロだらけで悪そうなのでそこには入らず左岸を大きく高巻く。踏み跡治いに山仕事用とみられる赤テープがベタベタ木に巻いてあった。



標高750mあたり



大きいホールドが少ない小滝を登る

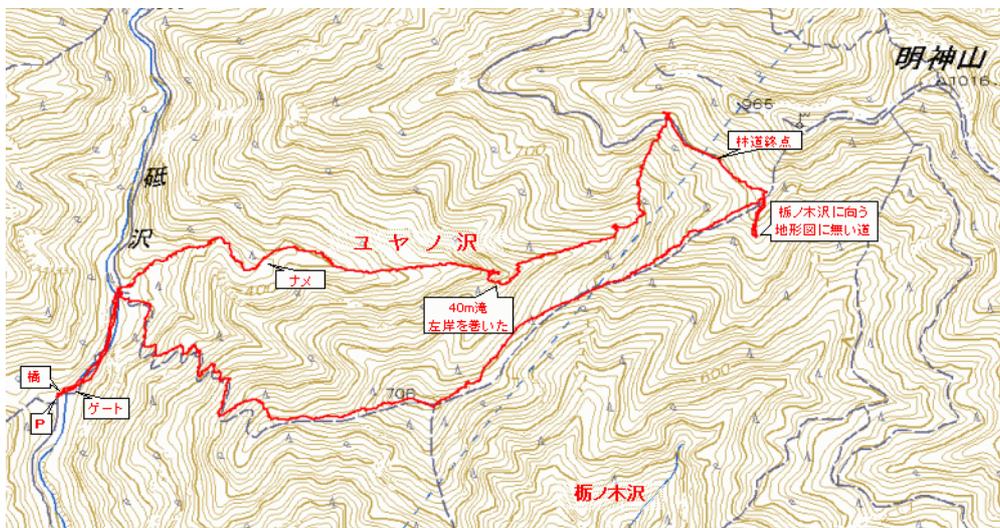
標高700m前後で水流が途切れたが、やがて復活。林道に出る直前まで水と戯れることが出来た。林道に上がって沢装備を解いているとヒルの被害が発覚。2名が足から流血していた・・・

林道の終点から先にも明瞭な踏み跡がある。ただ、ヒルがウヨウヨいて立ち止まるのは厳禁だ。登山道に出てホツとする。



標高706m地点の標識。我々は「ほうらい湖」の方向に進んだ。

下山の登山道は標高600mあたりの植林帯で少し不明瞭になるが、そこ以外は明瞭。
今回、他のパーティーには全く出会うことは無かった。



<タイム> 駐車地点8:15-入渓8:25-ナメ9:00-大滝10:00-沢終了12:00-登山道12:40-706m地点13:30-駐車地点14:20